

他策なかりしを信ぜむと欲す

JJ1SXA 池

表題は、伊藤博文内閣で外務大臣を務めた陸奥宗光の言葉です。

日清戦争の回想録「蹇蹇録(けんけんろく)」の中で、三国干渉への対応をめぐり、「他の誰であってもこれ以外の策はなかった」との思いを綴ったものです。

これだけ自信を持って言えるように、何事にもあたりたいものですが、凡人では、「下手な考え休むに似たり」で、自分では色々と策を練り、熟慮に熟慮を重ねた積もりでも、後で考えるとこうすれば良かった、ああすれば良かったという反省すべき事が多くて困ったものです。

「壮にして学べば老いて衰えず」、「老いて学べば死して朽ちず」という言葉もありますが、私の場合は、「壮にして学ばず、老いて尚、学ばず」ですので、さしずめ「老わずして萎え、死なずして朽ち果て」ということになりそうです。

60歳を過ぎて始めたPCは、いまだ初心者域を頑なに守っているようで、「老いて学べば・・・」では無く、「老いて弄ばれ」・・・どうなるのでしょうか？

若い時に、もっと勉強すべきことが多くあったことに気付きつつも、「壮の時代」には飲んだくれて、無為の日々を過ごし、「老の時代」に足を踏み入れた今は、頭の回転は鈍くなるのみ、そしてそれに気付かず、何時までも若い時の気持ちで、大事な事も、ひらめきで即断即決・・・と格好良く言ってはいるが、本当の所は、思考力が衰えて、考える事ができないだけ、実に情けない話です。

実際、精神的にも、肉体的にも若さは必要であり、これを維持する努力はしなければいけない事は分かっていますが、物理的な年齢は争い様が無く、「悔しいけど・・・」と言う事の方が多くなった今日この頃です。

去年は、かの国に拉致された被害者の一時帰国(?)で、騒然となりましたが、ある日突然、全く違う環境の世界に連れ去られ、青春時代を送った人達の立場を思いやると、いかに自分が自由に、勝手気ままに、そして自墮落に生きてきたのかと、悔恨の思いが募ります。

これからは、慎重に事にあたる習慣を身に付けて、「他策なかりしを信ぜむと欲す」と言えるような人間に近づきたいと密かに思っている次第ですが、無理のようです。

日々精進、日々勉強と誓っても、三日坊主どころか、二日も持たないようです、せいぜい、無線のアクティビティを上げて、大勢の人達の話聞き、また、大勢の人達と話をさせてもらい、CWのQSOをやり、パソコンに触り、少しでもボケ防止につとめる事が先決かと思っています。

各局お付き合いの程、どうぞよろしくお願い致します。